

9. 環境行政について（問9）

9-1 「環境基本計画」の認知状況

「環境基本計画」の内容を知っている人は14%にとどまっており、半数近くの人は「名前は知っている」というレベルであった。

平成12年12月に閣議決定された「環境基本計画」の認知状況をみると、認知率（「内容をよく知っている」「内容をおおよそ知っている」の合計）は14%に過ぎず、中心は「名前は聞いたことがある」というレベルであり、「知らない」も40%を占めた。

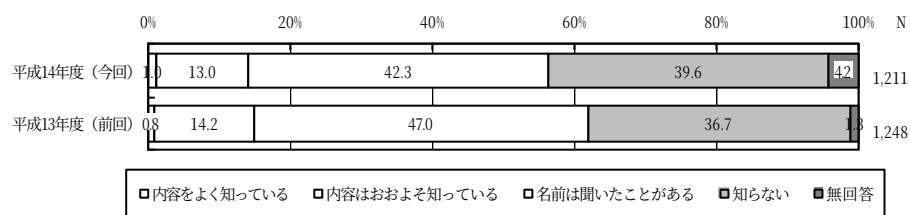
前回調査に比べると、認知率は1ポイント低下している。

認知率は、性別では男性が19%で、女性よりも9ポイント高い。

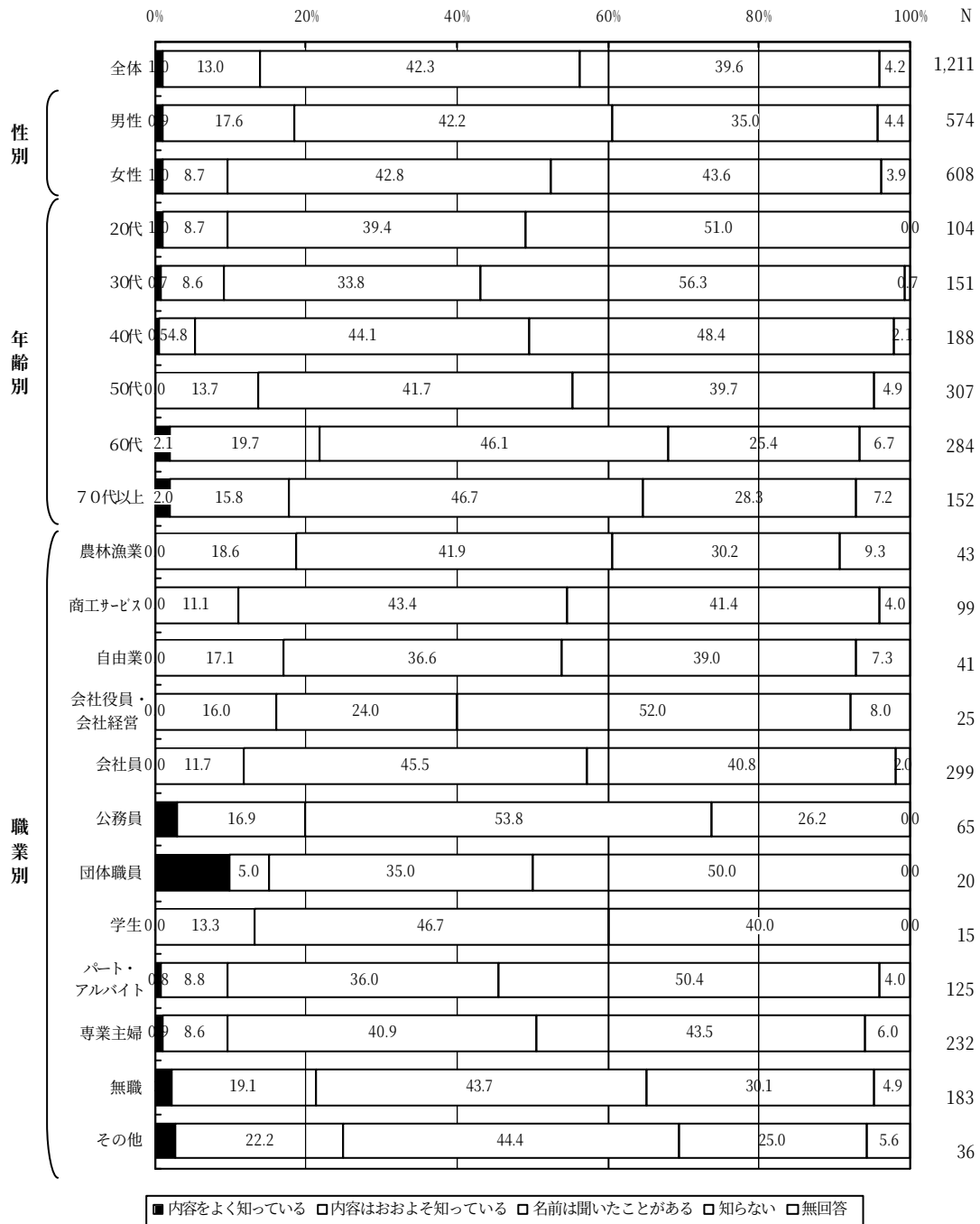
年齢別では、概して年齢の上がるほど増加する傾向にあり、最も認知率の高い60代では20%を超過している。

職業別では、認知率が高いものは公務員（20%）、無職（21%）で、最も低い商工サービスでは11%である。

【図表 9-1-1】「環境基本計画」の認知状況（全体、時系列）

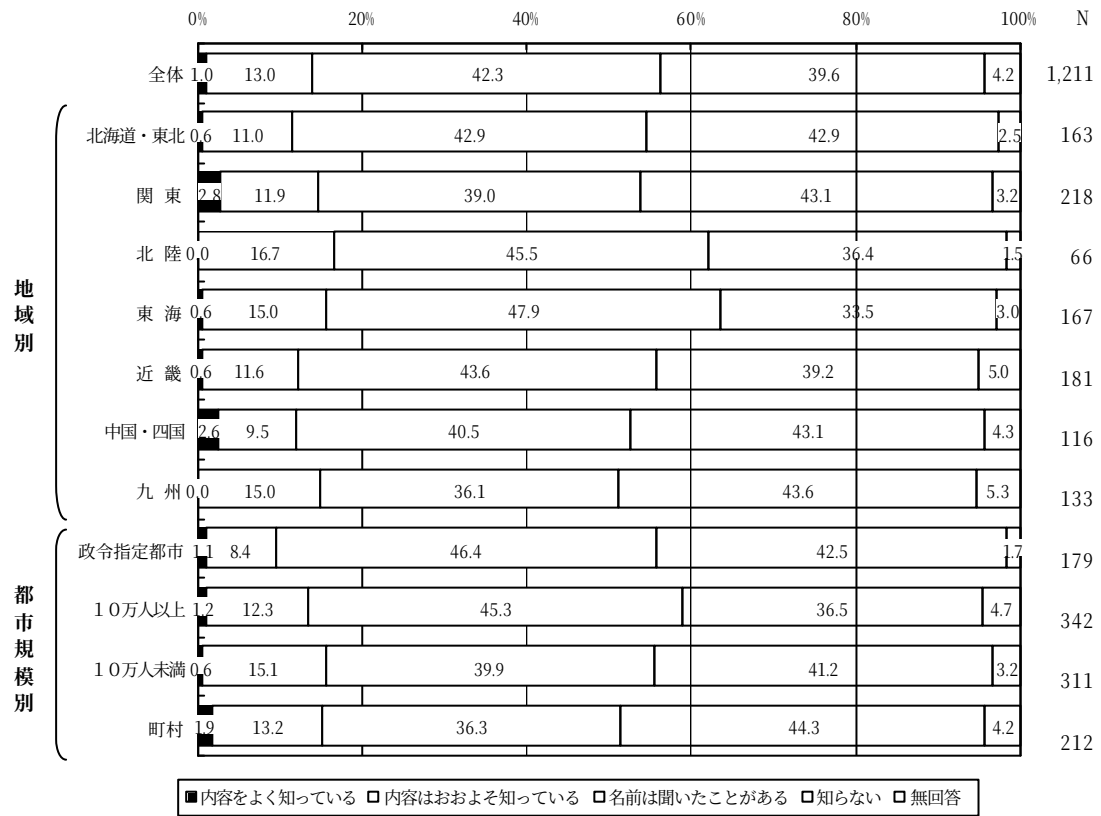


【図表 9-1-2】「環境基本計画」の認知状況（性別、年齢別、職業別）



環境基本計画の認知状況は、地域別、都市規模別とも、全体平均と比べて大きな差はない。

【図表 9-1-3】「環境基本計画」の認知状況（地域別、都市規模別）



9-2 環境行政全体の評価

環境行政に満足している人は8%、地方公共団体の環境行政に満足している人は15%に過ぎず、環境行政への評価は全般的に低いといえる。

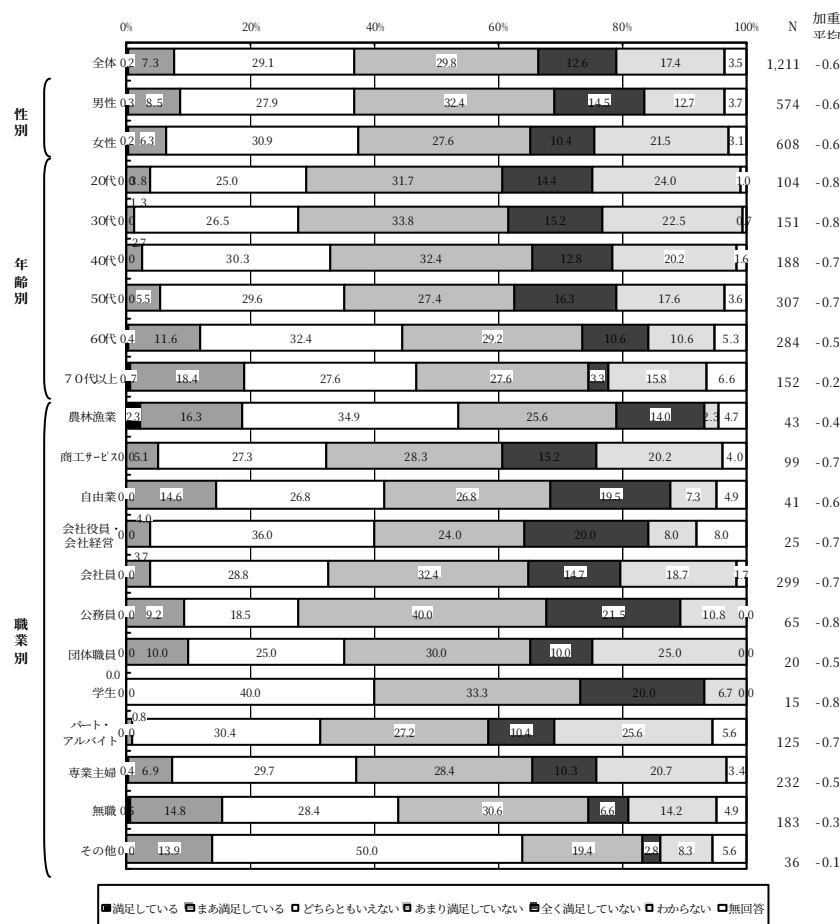
国が行っている環境行政の満足度（「満足している」「まあ満足している」の合計）は87%に過ぎない。これに対し、不満足度（「全く満足していない」「あまり満足していない」の合計）は42%に達し、国の環境行政への評価は低い。

性別にみると、男性の方が女性よりも不満足度が高い傾向にある。

年齢別では、概して年齢の上がるほど満足度は増加する傾向にあり、最も満足度の高い70代以上では19%である。

職業別では、満足度が高いものは無職、自由業（ともに15%）で、不満足度が高いものは、公務員（62%）、学生（53%）である。

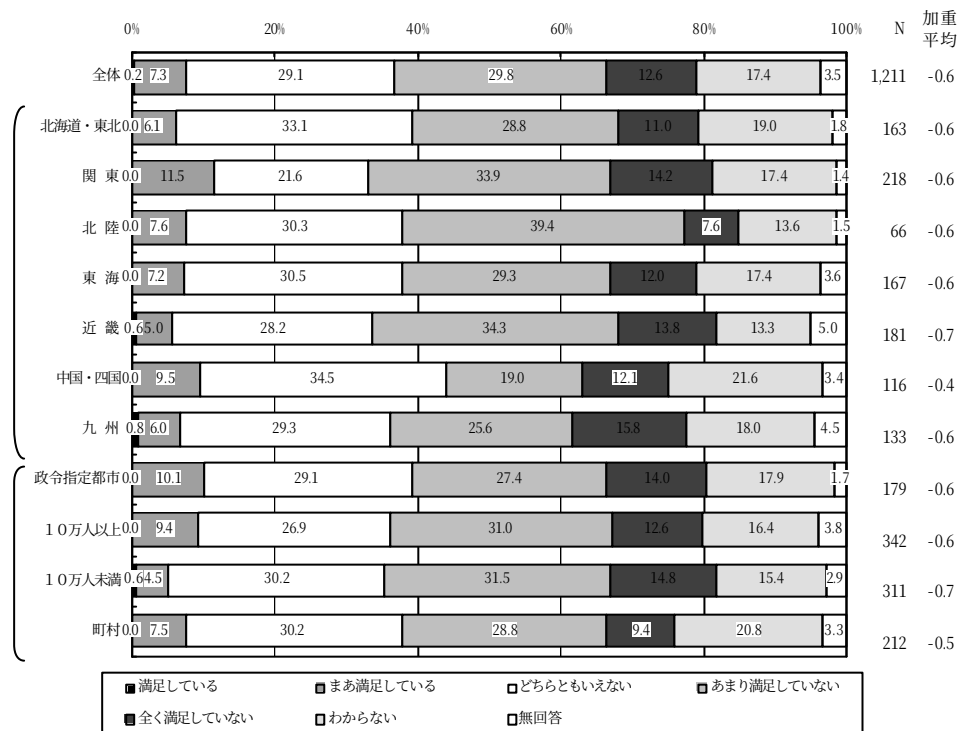
【図表 9-2-1】国が行っている環境行政全体の評価（性別、年齢別、職業別）



注) この項の加重平均は、「満足している」に2点、「まあ満足している」に1点、「どちらともいえない」に0点、「あまり満足していない」に-1点、「全く満足していない」に-2点を与えて算出した。

地域別にみた環境行政への評価は、関東、北陸、近畿で不満足度が47～48%と高い。
都市規模別では10万人未満の都市不満足度が46%とやや高い。

【図表 9-2-2】国が行っている環境行政全体の評価（地域別、都市規模別）



注) この項の加重平均は、「満足している」に2点、「まあ満足している」に1点、「どちらともいえない」に0点、「あまり満足していない」に-1点、「全く満足していない」に-2点を与えて算出した。

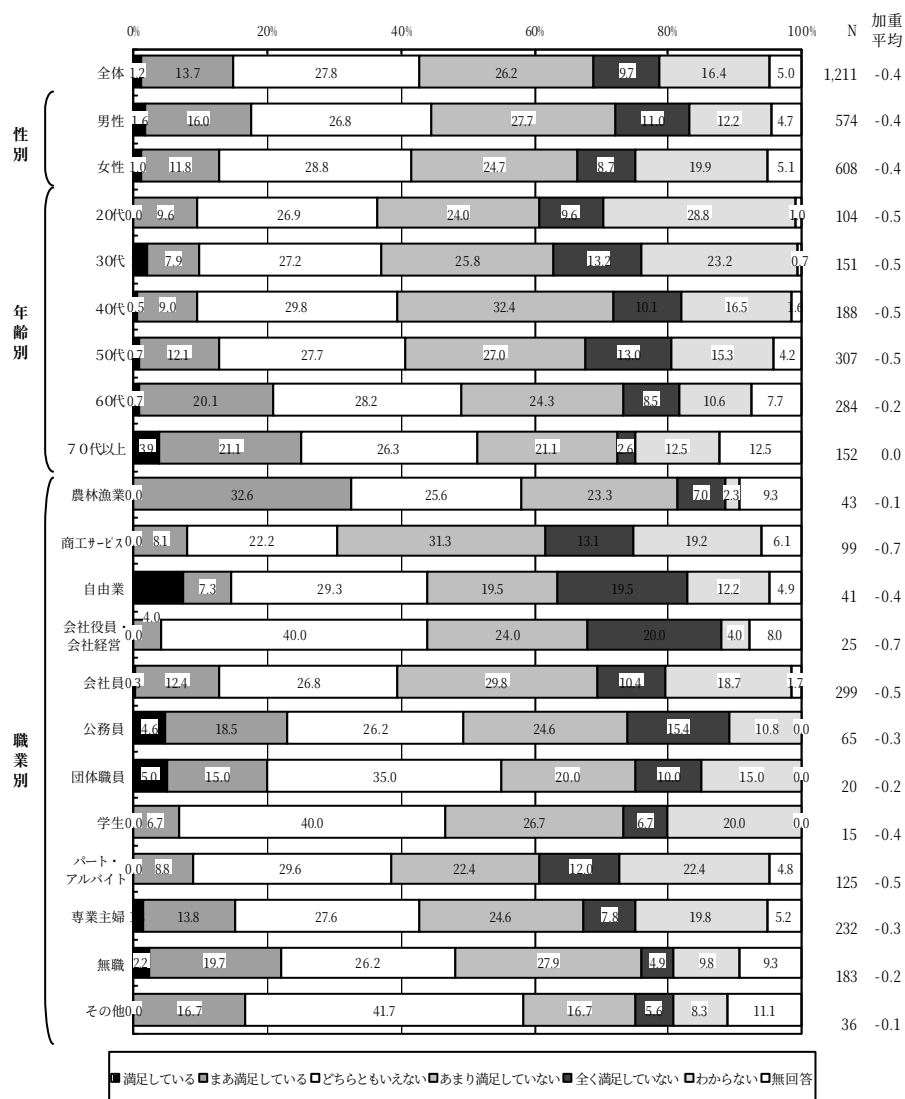
一方、地方自治体の行っている環境行政の満足度も15%にとどまる。これに対し、不満足度は36%を占め、環境行政への評価は国とともに低い。

性別にみると、女性の方が男性よりも満足度がやや高い傾向にある。

年齢別では、概して年齢の上がるほど満足度は増加する傾向にあり、最も満足度の高い70代以上では25%である。

職業別にみると、満足度が高いものは、農林漁業（33%）、公務員（23%）で、不満足度が高いものは、商工サービス、会社役員・会社経営（ともに44%）である。

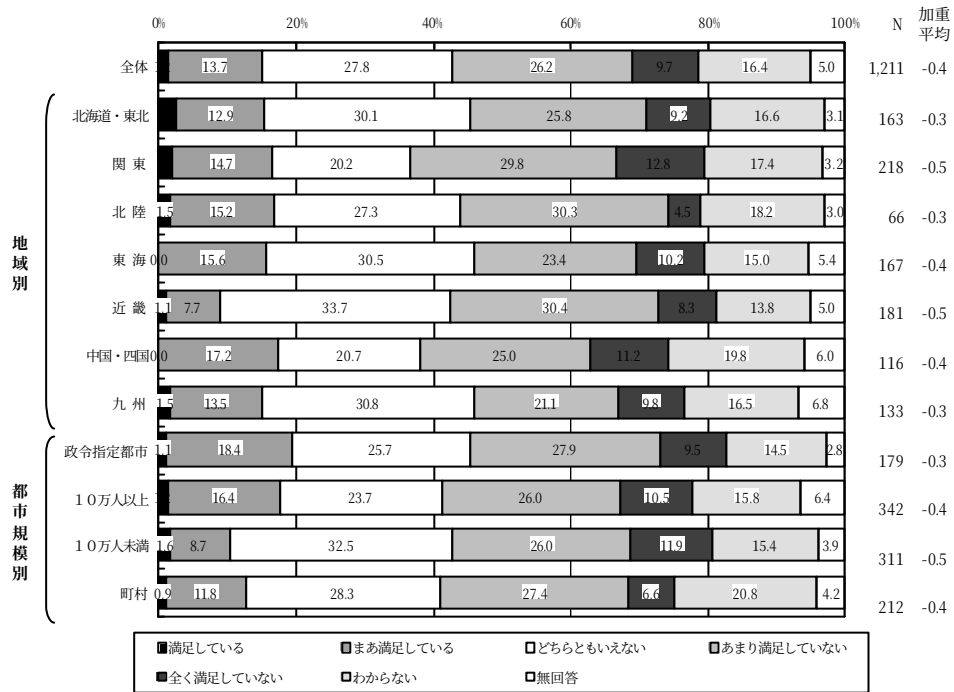
【図表 9-2-3】地方自治体が行っている環境行政全体の評価（性別、年齢別、職業別）



注) この項の加重平均は、「満足している」に2点、「まあ満足している」に1点、「どちらともいえない」に0点、「あまり満足していない」に-1点、「全く満足していない」に-2点を与えて算出した。

地域別では、関東の不満足度が44%とやや高く、都市規模別では政令指定都市の満足度が20%とやや高くなっている。

【図表 9-2-4】 地方自治体が行っている環境行政全体の評価（地域別、都市規模別）



注) この項の加重平均は、「満足している」に2点、「まあ満足している」に1点、「どちらともいえない」に0点、「あまり満足していない」に-1点、「全く満足していない」に-2点を与えて算出した。